

千葉県営水道事業 中期経営計画(令和3年度～令和7年度)の概要

第1章 計画の趣旨及び性格

○令和3年度から令和7年度までの5年間の千葉県営水道事業の経営に関する基本計画であり水道事業を運営する上での実施計画(現計画：平成28年度～令和2年度)

第2章 県営水道の今日の姿

○給水人口(約300万人)で全国第3位の大規模事業者

第3章 県営水道の現状と課題

- 1 施設の長寿命化及び計画的な更新
- 2 様々な災害や事故等への備え
- 3 安全でおいしい水の供給

- 4 お客様サービスの向上
- 5 県内水道の統合・広域連携
- 6 社会貢献
- 7 健全な経営の確保

第4章 県営水道のこれからの経営

〈基本理念〉 「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」

第5章 実施計画(5か年の主要施策)

8つの「主要施策」と「主な事業」

○これまでの基本理念及び3つの基本目標は維持していきます。

〈基本目標Ⅰ「強靱」な水道の構築〉

●主要施策(1) 安定給水の確保

老朽化の進む浄・給水場の施設及び設備並びに管路について、適切な維持管理を行いながら、計画的な更新・整備を進めます。

《主な事業》

- ・ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業(令和5年度稼働予定)
- ・第二木下～柏井導水管整備事業

●主要施策(2) 災害に強い施設整備の推進

施設の耐震化に加え、近年、全国的に発生している豪雨や台風などによる風水害に対応するため、浄・給水場等における停電対策などの実施により、災害に強い施設整備を推進していきます。

《主な事業》

- ・湾岸埋立地域における管路の耐震化
現状(R1) 47.7% ⇒ (R7) 70.0%
- ・最重要給水施設(病院・防災拠点等)へ給水する管路の耐震化
現状(R1) 25.4% ⇒ (R7) 80.0%
- ・非常用自家発電設備の増強(72時間対応へ)

●主要施策(3) 危機管理体制の充実

より迅速な応急体制の構築を目的として、給水区域内11市など、関係機関との連携強化を図りつつ、実践的な訓練に取り組めます。

《主な事業》

- ・非常時対応訓練の実施

〈基本目標Ⅱ「安全」な水の供給〉

●主要施策(4) 安全で安心な水づくり

水源の監視を行うとともに、異常水質への対応の幅が広がる高度浄水処理の導入を進めます。

また、浄水場から蛇口まで、水質管理の徹底に努め、安全な水をお客様にお届けします。

《主な事業》

- ・水源の水質調査等の実施
- ・ちば野菊の里浄水場(第2期)施設へ高度浄水処理を導入
- ・送・配水管の計画的な洗浄

●主要施策(5) おいしい水の供給

おいしい水に向けた技術的な取組を実施するとともに、お客様に水道水の安全性やおいしさを知っていただくために、PR活動を実施するほか、お客様との意見交換を通じて、お客様満足度の向上を図ります。

《主な事業》

- ・残留塩素低減化試験の実施
- ・お客様がご自宅で参加できる取組の実施(水質検査体験、おいしい水検定)
- ・おいしい水懇話会の開催



〈基本目標Ⅲ お客様からの「信頼」の確保〉

●主要施策(6) お客様サービスの向上

お客様サービスの向上を図るため、ICTを積極的に導入し、各種手続き等のデジタル化を進めていきます。

《主な事業》

- ・クレジットカード払い等の導入(キャッシュレス決裁)
- ・各種手続き(使用開始・中止等)のオンライン化等

●主要施策(7) 大規模事業者の責務と社会貢献

環境負荷の低減に向けた取組や開発途上国への技術支援による国際貢献を引き続き実施するなど、大規模事業者として求められる責務を果たしていきます。

《主な事業》

- ・マイクロ水力発電設備、太陽光発電設備の安定的な運用
- ・開発途上国への技術支援

●主要施策(8) 運営基盤の強化

事業の推進を図るため、人材の育成・確保及び能力開発に係る取組を実施するとともに、業務の効率化や費用の削減などにより健全経営を推進するなど、運営基盤の強化を図ります。

《主な事業》

- ・人材育成と能力開発を推進するための研修の実施
- ・経費の節減(発注規模の大型化、物品等の一括調達等)

第6章 財政収支見通し

- 収益的収支は、黒字を確保できる見込み。
- 建設改良費は、前計画と比べ633億円増の2,873億円を予定。

年度(令和)	(単位:億円)		
	3~7計 (計画期間)	8~12計	10年間計
純利益	292	155	447
建設事業費	2,873	2,586	5,459
うち企業債充当額	1,155	1,306	2,461

第7章 計画の進行管理と評価

- 目標を設定し、その達成に向けて、取組・事業を計画的に推進
- 内部評価と外部有識者による第三者評価を行い、評価結果をPDCAサイクルに反映